■サービス内容

2023年10月からコアバリューとなる開示促進サービスを中心に、運用機関のスチュワードシップ活動を効率化・充実化させるメニューをベータ版サービスとして提供しています。以降、段階的に提供サービスを拡充しています。

■ ベータ版の提供サービス

提供サービス	内容	メニュー
1 開示促進サービス	・自社が投資判断やエンゲージメント活動を行う際に重視するESG項目と、その項目を重視する理由や考え方を上場企業※2に伝えることができる。 ・上場企業側の閲覧状況（関心度）が確認でき、上場企業との対話が効率化できる。 ・参加している運用機関全体の重視傾向を把握することができる。	重視項目の共有 重視項目の関心度確認 重視傾向の確認
2 ESGデータベースサービス	・上場企業が直接登録したESG情報を閲覧、取得できる。 ・複数企業のESG情報を正規化されたデータフォーマットで、横比較および時系列での比較ができる。 ・ダッシュボード画面で、分析結果を各種レポートに活用できる。	ESG情報の閲覧/取得 分析支援ツール レポーティング
3 コミュニケーション支援サービス	・ESG課題について上場企業との対話をステージ分けし、進捗管理を行うことができる。 ・エンゲージメントの記録（テーマ、ゴール、対話記録）を自社内で管理するだけでなく、エンゲージメント先の上場企業と共有し相互に確認しあうことで、エンゲージメント内容に対する認識相違を防ぐことができるほか、より建設的な対話を行うことができる。	マイルストーン管理 対話記録 質問事項 レポーティング

※2：運用機関から見た投資先に相当するが、既存の投資先に関わらず本プラットフォームを利用している全ての企業を対象とすることができる。

■利用環境

- **インターネット外部接続が可能なWebブラウザー環境を通してのご利用となります。**
- **Webブラウザーは、Microsoft EdgeおよびGoogle Chromeを前提とします。その他のブラウザーでは正常に動作しない場合があります。**
- **ご利用の際には、２要素認証※3による本人確認を行います。**

※3：２要素認証とは、通常のパスワード認証に加えて、ワンタイムパスワードによる認証を設定してセキュリティを強化する機能。

■サステナブルファイナンスプラットフォーム運営協会

- **運用機関とその投資先である上場企業をデジタルプラットフォームでシームレスにつなぎ、ESGに関する相互理解や情報開示などを促進するための共同検討を進める一般社団法人です。デジタルプラットフォームの有用性を検証し、正式なサービス化に向けた共同検討を推進します。**
- **本運営協会の会員企業は次の通りです。**
  MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス株式会社、損害保険ジャパン株式会社、東京海上日動火災保険株式会社、日本生命保険相互会社、株式会社日立製作所、株式会社みずほ銀行、株式会社三井住友銀行、株式会社三菱UFJ銀行

- 本カタログリーフレット中の会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

- SFP-ESSは日立製作所が提供するクラウドサービス（SaaS）を活用しており、IFRS財団とのライセンス契約のもとSASBスタンダードの情報を提供しています。
- 記載の仕様は、製品の改良などのため変更することがあります。
- ベータ版のご提供により市場性や事業性の評価を行い、本格サービス起ち上げの見極めを実施いたします。なお、やむを得ずベータ版サービスで終了となる場合にはご利用のユーザ様には事前にお知らせするとともに、ベータ版で蓄積したデータの取り扱い等についてご連絡させていただきます。ご不明な場合は、下記にお問い合わせください。

Sustainable Finance Platform / Engagement Support Serviceに関する詳細・サービス利用料などのお問い合わせは下記へ

■サステナブルファイナンスプラットフォーム運営協会の情報サイト
https://sfp-ess.org

■インターネットでのお問い合わせ
https://sfp-ess.org/script/mailform/contact/

一般社団法人
サステナブルファイナンスプラットフォーム運営協会

© The Association for Promotion of Sustainable Finance Platform 2024. All Rights Reserved

LEAF-06-1 | 2024.07

ESG投資を促進し、持続可能な社会の発展をめざす

運用機関の皆様へ

上場企業と運用機関をつなぐ
Sustainable Finance Platform / Engagement Support Service

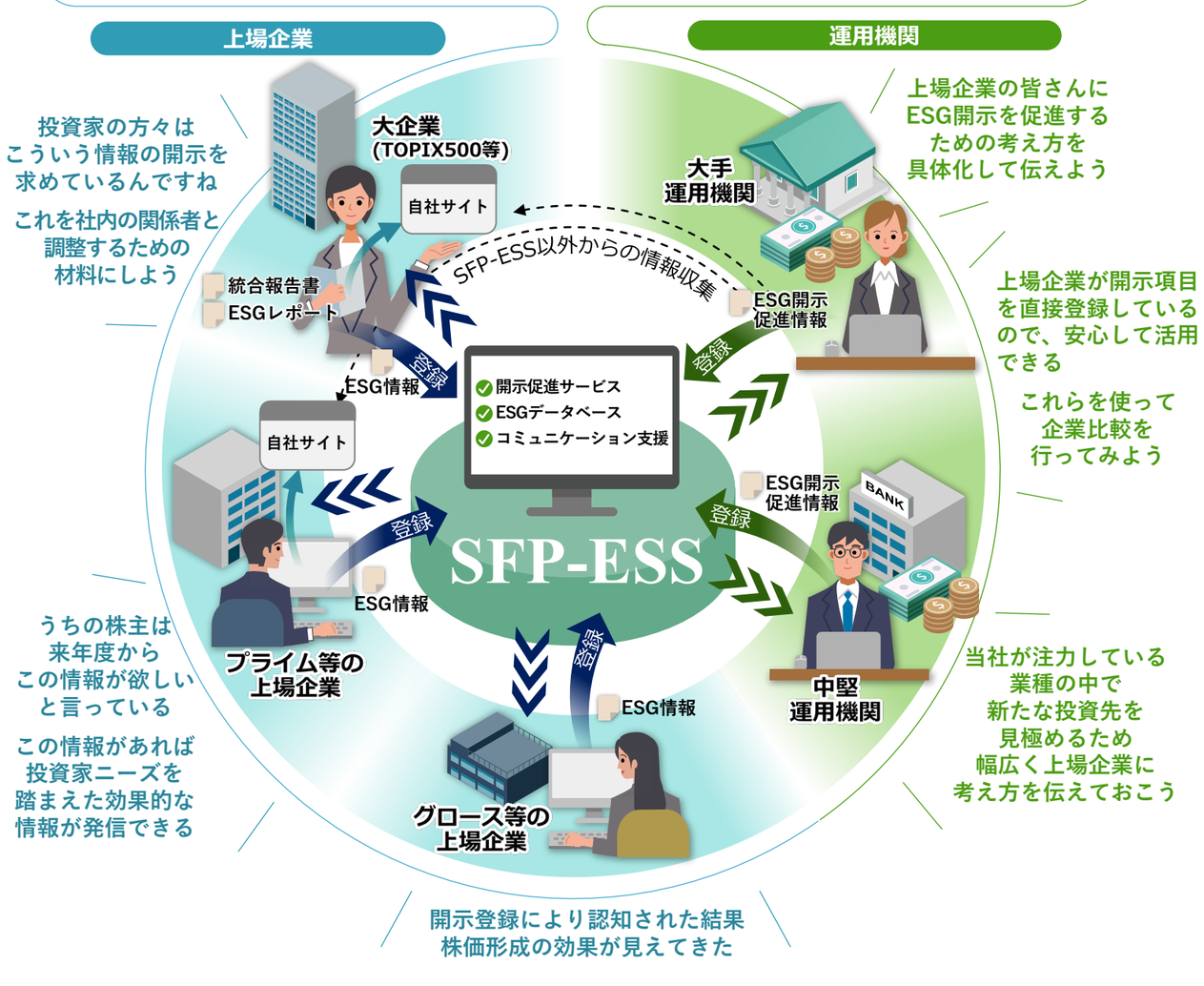
運用機関の皆様へ

Sustainable Finance Platform / Engagement Support Service（略称 SFP-ESS）とは

責任投資にあたって 次のような課題を抱えていませんか？

- 上場企業が開示するESG情報が不十分（知りたい情報が不足している）
- 候補も含めた投資先企業のESG情報の収集に手間がかかる
- ESG項目の基準が統一されておらず企業間の比較/評価が難しい

上場企業と運用機関を デジタルプラットフォームでつなぐことで 相互理解を深め効果的なエンゲージメントを実現



SFP-ESSでは、上場企業と運用機関の相互理解を 「Direct」「Efficient」「Effective」に深めることを実現します。

Direct 重視する観点を上場企業に「直接」意思表示し、上場企業の開示項目を「直接」収集できます。

Efficient SFP-ESSに参加する上場企業のESG情報を「効率的に」収集できます。

Effective 基準が統一された©SASB※1に準拠した分類項目でESG情報を収集し、「効果的に」企業間比較を行うことができます。

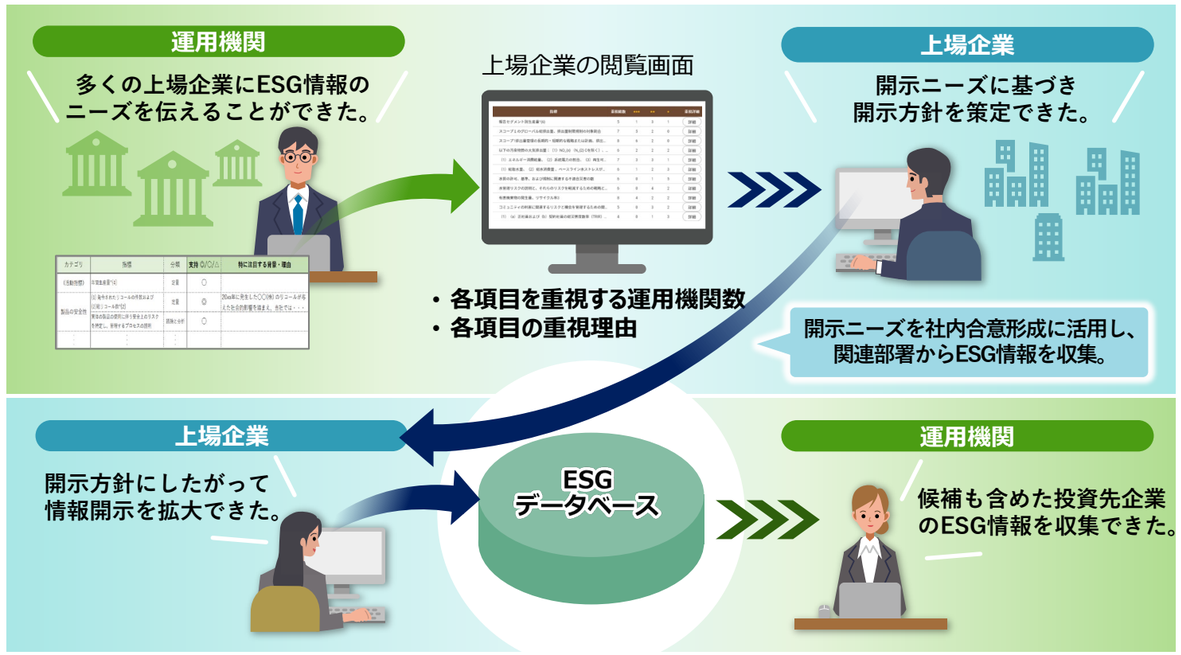
→ 投資活動の効率化に貢献！

※1：Sustainability Accounting Standards Board（サステナビリティ会計基準審議会）

■サービス利用イメージの例（開示促進サービス）

運用機関はSASBスタンダードに基づき、重視する項目を選択し理由等のコメントを付与することで、上場企業に開示して欲しいESG項目の考え方を伝えることができます。
さらに、SASBで設定された情報とは違った視点として、独自の考え方を上場企業に伝えることもできます。
上場企業は運用機関のニーズを確認し、自社の開示方針策定に活用できます。

開示促進サービスとESGデータベースサービスの利用例



※ 画面はイメージです

© The Association for Promotion of Sustainable Finance Platform 2024. All Rights Reserved